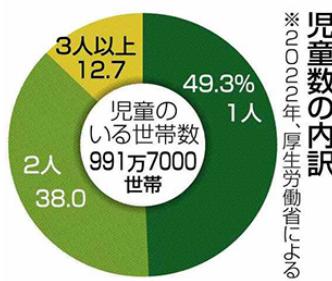




年 組 名前

道新で
ワークシート


厚生労働省は4日、2022年国民生活基礎調査の結果を公表した。児童（18歳未満の未婚者）がいる世帯数は991万7千で初めて1千万世帯を下回った。金世帯に占める割合も、19年の前回の大規模調査から過去最低を更新。少子化が改めて示された。「老介護」は過去最高の63・3・4歳以下18・3%と

5%に達した。
岸田政権は6月に「こども未来戦略方針」をまとめたものの、財源の裏付けなど透明な面が多く、少子化対策の実効性が問われている。
児童がいる世帯を人数別に見ると、「児童1人」が49・3%とほぼ半数に上り、「2人」が38・0%、「3人以上」が12・7%だった。
同居の家族らによる介護では、介護を受ける人との世話をする人がともに65歳以上昇した。
高齢者世帯は1693万1千。全世帯に占める割合は、19年の前回の大規模調査から2・5%上昇し31・3%に達した。
厚生労働省は4日、2022年国民生活基礎調査の結果を公表した。児童（18歳未満の未婚者）がいる世帯数は991万7千で初めて1千万世帯を下回った。金世帯に占める割合も、19年の前回の大規模調査から過去最低を更新。少子化が改めて示された。「老介護」は過去最高の63・3・4歳以下18・3%と

厚労省調査 18.3% 過去最低更新

子ども世帯 初の1000万割れ

超えた。厚労省は「高齢化が進み、夫婦の一方が亡くなることで単独世帯が増えているのではないか」と分析した。

調査は昨年6~7月に実施。今回は3年に1度の大規模な調査で、質問項目やサンプル数を増やした。世帯に関する調査は20万3800世帯、所得・貯蓄は1万9140世帯、介護は5499人の回答を集計した。

中、単独世帯も1785万2千へ増えた。19年から4・1%上り32・9%を占めた。
高齢者世帯と単独世帯は、いずれも初めて3割を

児童のいる世帯の状況



2023年 7月5日(水)朝刊 全道版 2ページ (記事は再編集しています)

① □に入る言葉として適切なものを一つ選びなさい。

- ア. 復活 イ. 消滅 ウ. 加速 エ. 減速

② 「老老介護」の意味を調べて書きなさい。

③ グラフから読み取れる内容として正しいものを一つ選びなさい。

- ア 2022年時点では、全世帯の8割以上に児童がいない。
 イ 2022年の子どものいる世帯数は、1986年の半分以下になっている。
 ウ 2022年時点で、児童数が一人の世帯は約300万世帯だといえる。
 エ 最近の人口減少に伴って、世帯数も減少傾向にある。